

World Prayer and Share Letter

この地球上には多くの国々や人々がいますが、2つの王国しかありません。ひとつは、光、いのち、真理、愛である神の王国、もうひとつは暗闇、死、誤り、憎悪であるサタンの王国です。この二つの王国は、国家レベルでも個人レベルでも常にぶつかり合っています。私たちの敵であるサタンはいつもクリスチャンの信仰と生活に立ち向かってきます。私達がキリストと真理のために立つ時、私たちは「戦いのために生まれた」ことを認識しておかなければなりません。私たちの罪の代価を支払うためのキリストの死により、又、私たちの勝利を保証するキリストの復活により、主はすでに戦いに勝利しておられます。しかし、私たちはこの時代の終わりに再び主がこの地に来られるまで、主の力をもって戦い続けなければなりません。今日の出来事はその戦いを示しています。

世界のための祈り

とりなし手の皆様へ

再び、北朝鮮が迫害者リストのトップに！

過去8年間、北朝鮮はクリスチャンへの迫害が強い国としてトップにランク付けされています。クリスチャンがこれほどひどく組織的な方法で迫害されている国は他にありません。あらゆる宗教活動は北朝鮮の社会主義に対する反乱として認識されます。2009年、金正日総書記はクリスチャンを狙い、捕らえて拷問し、殺害しました。1人が投獄されると、その家族の3世代も投獄されることがよくあります。約20万人と推測されている政治犯の4分の1(約5万人)はクリスチャンです。この迫害にもかかわらず、過去10年でクリスチャン人口は増えています。彼らは秘密のうちに自分達の信仰を実践していますが、見つかることもあるのでグループで歌ったりすることはありません。北朝鮮のクリスチャンは「自分達の安全のためでなく、強められ続けるように祈ってください」と言っています。彼らは、「人に知られないようでも、よく知られ、死にそうでも、見よ、生きており、罰せられているようであっても、殺されず、悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています。」(IIコリント 6:9-10) と言って迫害されたパウロと共鳴するのです。(編集者注: この情報は、迫害について取り扱っている世界最大の宣教団体、オープンドアーズからのものです。彼らはワールド・ウォッチ・リストにある50ヶ国のうち46ヶ国で働いています。)

北朝鮮のクリスチャンへの援助

ある2つのミニストリーは、北朝鮮のクリスチャンのために聖書を土台としたリーダーシップ訓練を提供するラジオ番組を一日30分放送することを始めました。この番組で教えられたカリキュラムは、将来北朝鮮の教会での奉仕や、教会成長のために準備をしている、国外追放になった北朝鮮のクリスチャンのために、韓国のソウルの「地下大学」でも教えられています。(編集者注: この力強いミニストリーが成功するためにどうぞお祈りください。)

中絶ホロコーストに対する流れを変える

妊娠中絶で何百万人もの子どもが世界中で死にました。墮胎が合法になって以来、アメリカだけでも、約4600万もの純真な命が奪われました。しかし、妊娠中絶を望む妊娠中の母親が、子宮にいる赤ちゃんのソノグラム(超音波)写真を見ると、80%の母親が妊娠中絶をやめて、子どもを出産することを選び取りました! わずか数カ月前、米国家族計画連盟(中絶を施す)の元ディレクター、アビー・ジョンソンは、超音波技術(ソノグラム)で妊娠中絶の手順を見た時、心が沈みました。胎児が母親の子宮からむしり取られたとき、「ぺちゃんこ」になるのを見たのです。彼女は、米国家族計画連盟を辞めて、かつて彼女がディレクターをしていたテキサス州ブライアンのクリニックの外で、「いのちを守る会」(Coalition for Life)の祈りのグループに加わったのです。

編集者注: ソノグラム・プログラムの成功をお祈りください。2010年3月、テキサス州の共和党は、医学的に不要な妊娠中絶を受けようとしている母親にソノグラムを見せることを課する法律の提案を投票にかけようとしています。また、アメリカの他の2つの州で、胎児を保護するために、憲法改正する署名を集めようとしている「胎児を人間として認める運動」のためにもお祈りください。



チャールズ&ダイアン・グリコ